

C型肝炎は内服薬だけで治る時代です

肝臓内科では2014年10月から現在までに、C型肝炎ウイルスによる慢性肝炎、肝硬変の患者さん400人あまりに対して、内服薬だけの治療を行っています。昨年発売された3ヶ月間の内服のみで効く薬に関しては、現在までに250人あまりの患者さんの治療を行い、ほぼ95%以上の患者さんでC型肝炎ウイルスが血液内から消失して、持続的なウイルス学的治癒が得られています。また、強い副作用で中止した人は数人にとどまり、本当に副作用の少ない、どなたにでも受けられる治療だと思います。ただ、治療を終了しウイルス学的治癒を得られた患者さんの多くは、75歳を超える高齢の患者さんが多く、今後肝細胞癌が出現する可能性もあり、3-6ヶ月おきの血液検査と腹部超音波検査やCT、MRIの検査が必要です。

現在、C型肝炎はほとんどが治癒する時代になっていますが、まだ全国で数十万人がHCV抗体の検査を受けておらず、自分がC型肝炎に感染していることを知らない患者さんが残っています。50歳以上のHCV抗体陽性率はまだまだ高く、現在までにHCV抗体を測定していない患者さんがおられたら、是非一度はHCV抗体の測定を勧めてください。また現在、B型・C型肝炎の検査は無料で受けられる制度もあります。保健所や公的機関で受けることができますので、是非お勧めください。（肝炎ウイルス検査 香川県で検索）

肝疾患連携拠点病院である当院では、出張肝臓病教室や出張無料肝炎検査を積極的に行っています。8月28日にJR高松駅前広場で開催されたさぬきマルシェの時には57名の方が、また、9月11日に直島の健康福祉まつりの時に臨時に開設した、親切な青鬼くん診療所で無料肝炎検診を行った時には92名の方々に来ていただきました。今まで検査を行った人のうち、1名が陽性との結果がでています。今後いろいろなイベントの時に出張無料肝炎検診を行っていく予定ですので、是非検査をすすめていただければ幸いです。

C型肝炎は内服薬だけの12週間の治療で、ほぼ100%治癒する時代となっています。C型肝炎の患者さんがおられたら、当院を含めた肝臓専門医のいる肝臓専門医療機関にご相談、ご紹介ください。（香川県肝疾患診療体制で検索）



さぬきマルシェの親切な青鬼くん診療所にて



直島の健康福祉まつりの親切な青鬼くん診療所にて

職場紹介 手術室

手術室 看護師長 大谷 宏実



手術室の基本方針は、手術を受ける患者さんの権利と安全を守ることです。手術室は全部で12室あり、平日の定時手術に加えて夜間、土曜日・日曜日・祝日24時間、緊急手術に備えています。また、近年ハイブリッドオペレーションシステムやロボット支援手術ダヴィンチが導入され、より一層高度な手術が可能となっています。高度な医療を確実に、そして安全に提供するために、2015年からWHO手術安全チェックリストを導入し、看護師だけでなく、手術担当医師・麻酔科医師・臨床工学技士・放射線技師・看護アシスタント

ト等の多職種が情報を共有し、今まで以上に安全に配慮した手術を目指しています。

病気になられた患者・家族の皆さまは、日常生活が大きく変化するばかりではなく、さまざまな不安な思いも持ちになっていると思います。特に「手術」と聞くだけで、ますます不安は大きくなるのではないのでしょうか。手術室では、患者・家族の皆さまの不安や緊張を少しでも軽減できるように、手術担当医師・麻酔科医師・看護師・臨床工学技士・放射線技師・看護アシスタントが支援させていただきます。そして看護師は、患者さんの一番身近にいるスタッフとして、倫理的配慮がなされた上で、専門的な知識と技術をもって手術が安全に行われること、患者さんの権利や安全が十分に配慮された手術看護を提供できることを目標にスタッフ一同がんばっています。

中央NEWS

フットケア（療養指導）外来

糖尿病療養指導士 副看護師長 串田 久美

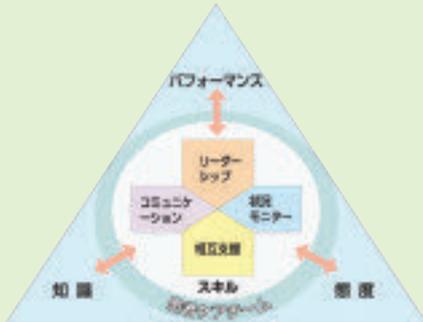
私たち糖尿病看護チームは、糖尿病患者さんを対象に1日3名の予約制で、第2・3・4木曜日の午後フットケア外来を実施しています。フットケア外来では、足の観察・足浴・爪切り指導、足を傷つけないための方法や靴の選び方・履き方の説明をしています。

糖尿病患者さんは、感染が悪化しやすく、合併症である神経障害や血流障害により足病変をおこしやすく、また足病変を見落としがちになります。そのため、処置が遅れて足壊疽や潰瘍になり、切断してしまわないといけなくなる人もいます。患者さんにフットケアの重要性を理解してもらい、自分で適切なケアの実践ができるように指導しています。

自分で歩くことは生活していく上でとても大切なことです。私たちが行うフットケアで、患者さんに足への関心を深めてもらい、足病変への進展阻止につながればと考えています。また足のケアだけでなく糖尿病に対する闘病意欲が高まることを目指して活動しています。



ステップス チームSTEPPSの取組みについて



TeamSTEPPS

Team Strategies & Tools to Enhance Performance & Patient Safety

4つのコンピテンシー（＝柱）が提案されています。4つの柱は「リーダーシップ」・「状況モニター」・「相互支援」・「コミュニケーション」で構成され、それぞれを達成するために様々なツール（道具・方法）が提案されており、それらを実施することによりチームパフォーマンス、ケアの質、患者安全に直接的な効果をもたらすことができます。

病院においては、ほとんどの治療やケアをチームとして提供しています。医療事故の原因の多くに関係しているヒューマンエラーを少なくするには、良好なチームワークを形成して、「間違える」という個人の特性をチームでカバーすることが大切です。

しかし、私達はチームとしての働き方を体系的には学んでいません。医療事故の根本原因の多くはコミュニケーションをはじめとするチームワークの問題と考えられています。

チーム STEPPS とは、チームとしてのより良いパフォーマンスと患者安全を高めるためのツールと戦略です。基本原理として「チーム体制」、そしてチーム医療の実践に必要な4



医療安全管理室では、チーム STEPPS の理論を学んで、当院における医療安全文化の醸成を図ろうと、平成 26 年度から全職員を対象にチーム STEPPS 研修を行っています。講師による座学だけでなく、講師を補佐する多職種のファシリテーターを交えて、グループでのゲームや討議を行いながら、患者安全に対する職員の意識を高めます。

全職員が、患者の安全を第一に考えて行動することが病院の風土となるよう、皆様の御協力をよろしく申し上げます。

中央NEWS

高校生の医師体験講座

8/4
(木)

消化器・一般外科 主任部長 大橋 龍一郎・総務企画課

8月4日(木)、病院移転後2回目の医師体験講座を開催しました。参加者は高校生11名でしたが、女子が9名と多く、元気で積極的な態度で参加してくれたため、とても明るい雰囲気の講座となりました。

医師としての職業倫理の説明から始まり、手術やBLS (Basic Life Support 一次救命処置) などの体験学習、院内各部署の見学、医師との座談会など、基本的には昨年と同様の内容でしたが、手術体験時にガウンや手袋の着用方法を説明して清潔について理解を深めたり、内視鏡体験時に胃の正常な細胞と癌細胞の二択クイズをして内視鏡検査への関心を高めたりと、より充実したものとなりました。

参加者はそれぞれ多くのことを体験し、中には医師との座談会で、やりがいがあり、飽きない職業だと聞き、「医療現場に立ち、このお医者さんたちのように輝きたいな」との感想を持った生徒もいました。参加した高校生の医療の道に進みたいという気持ちを少しでも後押しできていたらうれしく思います。



～病院食の味は薄い?～

病 院 栄 養 士 の 仕 事

栄養部 技師長 加村 晴美

実際に私たちはどれくらいの塩分を摂っているのでしょうか？日本人は1日に男性10.9g、女性9.2g（平成26年国民健康栄養調査）であり、香川県民は男性10.8g、女性9.1g（平成23年県民健康栄養調査）でした。消費者の意識が高まり、加工食品の塩分も減少し、1960年代には15gくらい塩分を摂っていたことを考えると大変少なくなりました。

現在の成人の塩分目標量は1日に男性8.0g、女性7.0g（日本人の食事摂取基準2015年版による）です。当院の普通食（基本となる献立）の塩分は、この目標に合わせており、平均7.5g程度で提供しています。

食塩摂取制限をしなければならない高血圧、心臓病、腎臓病などの病態食になると各種病態ガイドラインのとおり6g未満になっています。確かに日頃から10g程度食べている方には薄く感じるかもしれません。

塩分を減らす時、他の調味料も減らさないと味のバランスが悪くなるので全体に控えめの味付けになります。また、薄味でもたくさん食べると摂取塩分は多く、反対に濃い味でも少なければ摂取塩分は少なくなります。当院での減塩の栄養指導時は、減塩の必要性を理解していただき、個人にあった減塩方法を紹介しています。良い機会と考え、素材本来の味をお楽しみいただきたいと思います。



中央NEWS

9/1 ほっと一息やすらぎタイム (木) ミニコンサートを開催しました

関西を中心にライブ活動を行っておられるピアノ弾き語りシンガーソングライターの松中啓憲さんをお招きし、院内コンサートを開催しました。

坂本九さんの名曲「見上げてごらん夜の星を」から始まり、松中さんのオリジナル曲「ありがとう」など全8曲のピアノ弾き語りに皆さん聞き入っておられました。

「上を向いて歩こう」を会場の皆さんと楽しく一緒に歌うことができ、良い思い出となるミニコンサートとなりました。



医師の人事

異動

転入

(9月1日付)

高田 雅代

産婦人科

転出

(9月14日付)

● 植本 一駿 (消化器・一般外科)

(9月30日付)

● 多賀 茂樹 (産婦人科)

● 松原 侑子 (産婦人科)

● 武部佐和子 (麻酔科)

● 池田 智子 (麻酔科)



医療セミナーを開催します

- 日 時：平成28年11月17日（木）19時00分～
- 場 所：香川県立中央病院 1階講堂
- テーマ：「がん診療の新たな展開」
～免疫チェックポイント阻害薬の
安全使用に関する取り組み～
- 講 師：当院呼吸器内科部長 上田 裕

第8回病院祭を開催します

- 日 時：平成28年11月23日（水・祝）
13時～16時30分（物販・飲食は11時～）
- 場 所：香川県立中央病院 1階講堂、ロビー
- 内 容：健康に関する市民公開講座、演奏会など

かんわ支援チーム学習会を開催します

- 日 時：平成28年12月8日（木）18時30分～
- 場 所：香川県立中央病院 1階小会議室
- テーマ：「消化器症状の緩和ケア」
- 講 師：当院消化器内科部長 和唐 正樹

緩和ケア研修会を開催します

厚生労働省の開催指針に沿った緩和ケア研修会を開催いたします

- 日 時：平成28年12月10日（土）、11日（日）
- 場 所：香川県立中央病院 1階講堂